

## 「生産計画と工程管理」

開催日：令和8年9月4日（金）

申込期限：令和8年8月14日（金）

実施会場：ポリテクセンター宮崎

## 1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層

ねらい：多品種少量化や短納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。

基本項目	主な内容
1 工程管理の考え方	(1) 工程管理の目的 ・事業活動目的・組織活動とは (2) 工程管理手法 【演習あり】 ・商品開発開始から始まる生産計画 (3) 工程管理の種類 ・様々な計画の目的と運用ポイント (4) 工程管理の実践ポイント 【演習あり】 ・利益を出せるものづくりのための生産性改善
2 生産計画の立案と作成手順	(1) 受注生産と見込み生産 ・事業体制に応じた最適な生産方式 (2) 生産計画の立案 【演習あり】 ・需要を予測する方法を解説 (3) 在庫管理と生産リードタイムの関係 【演習あり】 ・作り過ぎのムダを認識し管理すべき項目を解説 (4) トラブル発生の未然防止 【演習あり】 ・緊急対応と未然防止の対応について (5) 製造現場の問題点と対策 ・最近の製造現場の問題点と対策の解説 (6) 開発と製造一貫のものづくり ・工程管理のデジタル化

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

## 2 | 講師紹介



## 伊藤 浩文／パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

今までの簡易的な経歴 ・ものづくり関連コンサルタント 生産管理、工場管理、合理化、現場・設備改善、品質改善、環境、安全衛生、5Sなどの領域対応  
 ・エンジニアリング会社顧問として、AI&IoTシステムなどのデジタルものづくり導入支援生産性向上支援訓練での訓練コースを多数経験

## カリキュラム作成のポイント・ひとこと

- ・ものづくりの基本を学び、自社のものづくりの課題を抽出して優先すべき課題は何かを考える。
- ・標準作業をベースとしたものづくりを理解して、自社で優先して適用すべきものは何かを考える。
- ・様々な課題の解決のための製造データを活かすものづくりを紹介して、自社のものづくりのありたい姿をイメージできるようになることを狙う。